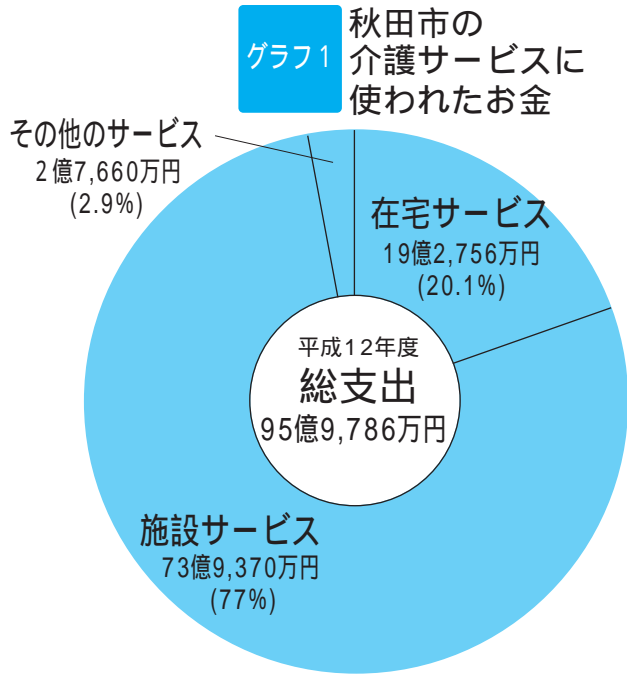


みんなので支え合おう

# 介護保険

## 1年間で約96億円のサービス利用がありました。



お年寄りの生活をより安心なものにし、家族の介護負担も軽くする介護保険制度。制度が始まって一年目の平成十二年度は、介護保険のいろいろなサービスを提供するのに、約九十六億円のお金が使われました。秋田市で要支援・要介護の認定を受けた方は六月末までで七千七百七十四人(グラフ3)。このうち六千六百七十二人のかたが、介護サービスを利用しています。

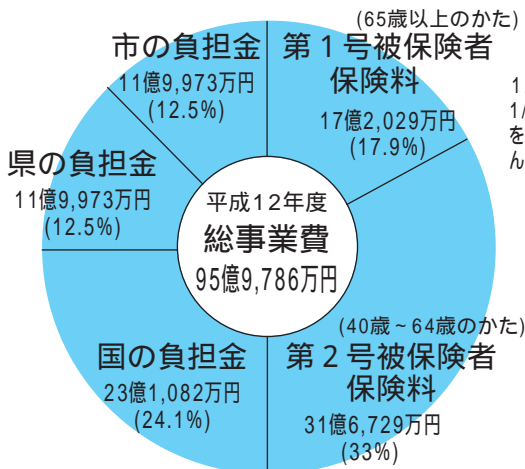
市では介護保険のスタートに当たり、平成十二年度は百二十億円の予算を見込んでいましたが、実際に介護サービスに使われた費用は九十五億九千七百八十六万円となりました。左下のグラフ2のとおり、かかった費用の半分は被保険者の保険料で賄い、残りの半分は国・県・市の公費で賄いました。六十五歳以上のかたが納める保険料などは、三年間で収支がとれるように見込んでおり、十二年度は剰余金がありました。これは財政調整基金(一)として積み立て、十三年度以降の介護サービス提供のために使います。四十〜六十四歳のかたが納めた保険料は、いったん国の機関に集められ、そこから総事業費の三十三割分が市に交付されるため剰余金はありません。

財政調整基金：介護サービスの提供に必要な費用が不足した場合、その財源に充てるお金

主な介護サービスの種類と利用件数

サービスの種類	利用件数	
在宅サービス	訪問介護	10,745件
	訪問入浴介護	1,414件
	通所介護(デイサービス)	11,679件
	短期入所(ショートステイ)	2,849件
施設サービス	介護老人福祉施設	7,812件
	介護老人保健施設	13,360件
	介護療養型医療施設	2,953件
	その他(住宅改修など)	37,386件

グラフ2 秋田市の介護保険事業に入ったお金



12年度は保険料が年間で1/4に軽減されたためこれを補う円滑基金繰入金を含んだ額です

石井リワさん(89歳・上新城)は、住宅改修の介護サービスを利用して、自宅入口の階段や玄関、風呂場、トイレなどに手すりを設置しました。介護サービスを上手に利用して、これからもいきいきとした生活を送ってくださいね。



「手すりがついたおかげで、移動が楽になって、外に出る回数も増えました」とリワさん。